

安全データシート

改訂日: 2023年12月6日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

タルク
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
DA0027

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性

発がん性: 区分1A(結晶質シリカが含有する場合)
特定標的臓器毒性: 区分1(呼吸器)
(単回ばく露)
特定標的臓器毒性: 区分1(呼吸器)
(反復ばく露)

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
発がんのおそれ(結晶質シリカが含有する場合)
呼吸器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

【安全対策】
粉じんを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【救急処置】
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化学品
タルク
滑石、珪酸マグネシウム
 $Mg_3Si_4O_{10}(OH)_2$ $3MgO \cdot 4SiO_2 \cdot H_2O$
タルク、石英 *各含有量は別表を参照
タルク: 対象外、石英: 1-548
別表1. 成分、含有量、CAS番号

成分	含有量	CAS番号
タルク	99.7%以上	14807-96-6
石英	0.3%未満	14808-60-7

タルクは天産品のため不純物として結晶質シリカ(石英)が0.3%未満含有するおそれがある。

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

飲み込んだ場合
応急処置をする者の保護

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
水で15~20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
特有の危険有害性	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。
	火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 個人用保護具：空気中濃度に応じた粒子用フィルター付マスク。 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
環境に対する注意事項	湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために最初に湿らせる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	残留分を多量の水で洗い流す。 飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。 取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	粉じんを吸入しないこと。 粉塵の拡散を防ぐ。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 粉じんを発生させないようにする。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
接触回避	取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して涼しく乾燥した場所で保管すること。 凝固を起こすことがあるので水濡れ対策を行うこと。
安全な容器包装材料	ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	該当情報なし。
管理濃度	0.5 mg/m ³ (第1種粉じん・タルク・吸入性粉じん)
日本産衛学会	2 mg/m ³ (総粉じん)
ACGIH	TLV-TWA: 2 mg/m ³ （吸入性粉じんとして、アスベストを含まない呼吸性画分）
設備対策	粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	白色の粉末
臭い	無臭
融点/凝固点	約900℃で脱水分解する。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	約900℃で脱水分解する。

pH	弱アルカリ性
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水、アルコール、有機溶剤に不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	2.7～2.8
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	耐熱性に優れ、化学的に安定。
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	加熱、直射日光、水濡れ
混触危険物質	該当情報なし。
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：データ不足のため分類できない。 皮膚：データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	初期の疫学研究ではアスベスト繊維を含有しないタルク（石英を含有）を職業的に吸入ばく露したヒトのコホート研究、5件中4件で中皮腫は認められず、タルクへの累積ばく露量が高レベルのコホート研究2件における高ばく露群の肺腫瘍発生率は全5件のデータを統合した肺腫瘍発生率より低値であった（IARC 93（2010））。 一方、1件のコホート研究報告で、亜集団に肺腫瘍発生率の増加がみられたが、この集団はラドンと石英に共ばく露され、コホート全体では肺腫瘍の発生率増加はみられていない（IARC 93（2010））。また、コホート内症例対照研究においても、タルク粉じんへの累積吸入ばく露量の増加に伴う肺がんリスクの増加傾向は示されなかった（IARC 93（2010））。 実験動物でも、ラット、又はマウスに粒子径の小さい（粒子径10 μm以下）高純度（繊維成分及びアスベスト様無機物を含まない）のタルクを2年間以上吸入ばく露（8又は16 mg/m ³ ）した発がん性試験において、いずれの種でも肺腫瘍の発生率増加はなく、特にラットでは肺に非腫瘍性変化が顕著に認められる濃度（16 mg/m ³ ）においても、肺腫瘍の発生率の増加はみられていない（IARC 93（2010）、ACGIH（7th, 2010）、NTP TR421（1993））。 一方、欧米ではタルクをベースとしたボディーパウダーがナブキンや避妊用具を介して女性の会陰部、生殖器官へ適用されてきた。IARCは全体で1件の前向きコホート研究、及び19件の症例対照研究を総括し、化粧用タルクの使用と卵巣がんのリスクの増加に関して、相対リスクの増加が多く、報告で示され、局所適用したタルクが卵巣へ逆行的に移行するという証拠は健康な女性では低い、外科手術等によりクリアランス機能が低下した女性では逆行性移行の証拠が一定程度あるとして、タルク含有ボディーパウダーの会陰部使用による卵巣がんのリスク増加には限定的な証拠があると結論した（IARC 93（2010））。 以上より、IARCはアスベスト、及びアスベスト様繊維を含有しないタルクについて、吸入経路ではグループ3に、タルクをベースとしたボディーパウダーの会陰部適用ではグループ2Bに分類した（IARC 93（2010））。ACGIHはIARCによる発がん性評価結果を踏まえつつも、発がん性分類は職業ばく露のみに限定してA4に分類した（ACGIH（7th, 2010））。本評価ではIARCの「タルクベースの製品の会陰部適用でのグループ2B」は極めて限定された本物質の特異な用途及び適用経路における発がん性分類結果と判断し、本項の分類のための総合評価の観点からはこれを除外することとした。その上で、IARCの吸入経路での分類結果、並びにACGIHの分類結果が妥当と判断し、本項はアスベスト（又はアスベスト様繊維、無機物）を含有しないタルクに対して、「分類できない」とした。 加えて、タルクに結晶質シリカが最大0.3%未満含有することがあるため、注意喚起として区分を1Aとした。 データ不足のため分類できない。 本物質の急性影響を示す情報は少ない。ヒトでは、乳幼児のタルク吸入事故（濃度等詳細情報不明）で、咳、くしゃみ、呼吸困難、息切れ、嘔吐、異物反応（詳細不明）、肺の過負荷、呼吸障害、肺炎の報告がある（DFGOT vol. 22（2006））。 実験動物では、ハムスターへの本物質（比較的高純度のタルクを産出するVermontの作業場から採取したグラナイト（12% 石英）及びタルクダスト（石英及びアスベスト不含）を使用）を用いる0.15、3.75 mg/100g 体重の気管内注入で、注入1日後、酵素濃度（詳細不明）の増加、肺水腫、マクロファージ食作用の抑制、ばく露2週間後、グラナイトばく露群では急速に回復したが、タルクダストばく露群では酵素濃度（詳細不明）増加及びマクロファージ食作用抑制が継続したと報告がある（ACGIH（7th, 2010））。 以上のとおり、実験動物及びヒトのデータは限定的であるが、呼吸器への影響が懸念されることから、区分1（呼吸器）とした。
生殖毒性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	

特定標的臓器毒性(反復ばく露)		吸入経路では、ヒトにおいて、職業ばく露により、肺機能障害、X線検査において肺の陰影の有症率増加の報告がある(ACGIH(7th, 2010))。したがって、区分1(呼吸器)とした。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び成功例18条の2)(結晶質シリカ)
		危険性又は有害性を調査すべき物(結晶質シリカ)
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		職場の安全サイト(厚労省HP) 17423の化学商品(化学工業日報社) NITE－CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
		記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。